

順位表 8/25現在
基本 25試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

注：＊印は消化試合が数字分少ない

1*1	大宮	56p	+27	43	16	A●
2	今治	46p	+8	35	27	A○
3	沼津	43p	+16	42	26	H● A●
4	富山	42p	+12	30	18	H△
5	北九州	42p	+9	25	16	H●
6	金沢	39p	+3	39	36	A△
7	相模原	36p	+4	25	21	A△
8	八戸	36p	+3	26	23	H● A●
9	琉球	36p	-3	32	35	H△
10	松本	35p	+4	37	33	A○
11	FC大阪	34p	+4	25	21	A△
1*12	福島	33p	+9	36	27	H○
13	岐阜	33p	+2	39	37	---
1*14	長野	28p	-5	36	41	A●
15	鳥取	28p	-14	26	40	A○ H●
16	YS横浜	26p	-14	21	35	A○ H○
17	奈良	25p	-7	33	40	A● H△
1*18	讃岐	22p	-7	22	29	H○
19	宮崎	19p	-15	24	39	H● A○
20	岩手	14p	-36	15	51	H○

次回HomeGame

第28節 vs.SC相模原

9/14(土) 15:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：月曜日

今日もここから
串かつで一杯
煮込み珍道中
串かつ
14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
<定休日：日曜・祝日>
TEL. 058-252-1580



通算対戦成績	全18試合 (J2:12試合、J3: 5 試合、天皇杯: 1 試合) 岐阜5勝 / 松本9勝 / 4分け Jリーグ岐阜ホーム戦：2勝1分5敗			
直近の対戦結果	2024/03/31 松本 1-2 岐阜 得点者：荒木大吾, 粟飯原尚平 J3 - 7節@サンアル			
ここ 3試合の 公式戦の 結果	岐阜	2024/08/25 J3 - 25節@長良川 岐阜 5-1 YS横浜 2024/08/17 J3 - 24節@プラスタ 八戸 4-1 岐阜 2024/07/28 J3 - 23節@長良川 岐阜 0-1 鳥取	松本	2024/08/24 J3 - 25節@富山 富山 3-0 松本 2024/08/17 J3 - 24節@サンアル 松本 3-2 相模原 2024/07/27 J3 - 23節@サンアル 松本 1-1 福島

●3/24 (日) 第6節・盛岡戦での勝利以降、ホーム・長良川では8試合・5か月間の未勝利、そして中断期間を挟んで3連敗中と不調に苦しむFC岐阜。8/25 (日) 第25節・YS横浜戦では、夏の移籍期間に加入した選手を積極的に起用して臨む。すると前半26分に#24 粟飯原尚平が先制点を決めると、直後の28分に#10 庄司悦大が追加点。YS横浜に1点を返されてしまいが、前半A TのCKを新加入の#37 寺阪尚悟が決めて前半だけで岐阜が3得点。後半30分にも#11 藤岡浩介が10試合振りのゴールで追加点を奪うと、後半A Tには再び#11 藤岡が自ら獲得したPKを決めて、5-1。相手のミスにも助けられた面はあるが、ようやくホームでの勝利を手にすることができた。

この試合の結果、岐阜の順位は13位のまま変動はないが、得失点差をプラスに戻すことができたほか、6位 (= プレーオフ出場圏)・金沢との勝点差を9から6に縮めることができた。これで、辛うじてではあるがプレーオフ出場圏争いに、岐阜も再び参加することができたと考えるだろう。なお、上位チームでは、直接対決した今治と沼津の順位が再び入れ替わり、今治が2位 (= J2自動昇格枠) に。そして、首位・大宮は長野との試合が後半35分で雷雨のため中止に。讃岐と福島の試合も雷雨の影響で開催が中止になっている。今後も、雷雨や台風などの影響により試合が中止となる可能性があり、その代替・再開試合による日程等の影響が、リーグ終盤戦の展開に影響を及ぼすことも想定される。そして、2024シーズンのJ3は残り13試合。その残り試合で1試合あたり勝点2のペースで勝点を積み上げ続けることができれば、プレーオフ出場圏内に入ることが可能かもしれない。ただし、そのためには目の前の1試合を、確実に勝利することこそが最初に達成すべき目標だ。今日の試合を最後まで必死に戦って勝利して、少しずつ勝点を積み上げ順位を上げて、そうして最終的な目標に到達できることを、改めて肝に銘じるべきだ。

さて、今節の対戦相手は松本山雅FCだ。昨季はJ3での2年目を9位で終えた。今季は霜田正浩監督3年目体制で、チームの積み上げでJ2昇格を狙う。シーズン開幕から、3連勝もしないが3連敗も無いという着実な成績で、現在は勝点35で10位、プレーオフ出場圏と勝点差が4。したがって、今日の試合は勝点差2のチームの“6ポイントマッチ”であるのと同時に、プレーオフ出場圏の生き残りを懸けたサバイバルマッチでもある。

松本とのリーグ戦での通算対戦成績は、岐阜の4勝4分9敗・15得点20失点、ホーム戦でも2勝1分5敗・8得点11失点。過去3シーズンのJ3での対戦でも、1勝2分2敗・2得点5失点と負け越している。ただし、一昨年は岐阜が2敗して、昨季は2引き分け。そして今季の前回対戦である3/31 (日) 第7節・アウェイ戦は、試合開始早々に#8 荒木大吾のミドルで先制。しかし松本の#6 山口一真の得点で同点に追いつかれてしまい、その後は松本が試合を優勢に運ぶ苦しい展開に。得点が動かないまま時間が進むと、後半A Tに#24 粟飯原尚平の決勝点で2-1の勝利。今節の試合でも勝利して、今季こそ難敵・松本に“シーズンダブル”を決めたいところだ。

松本で最も警戒すべき選手には、やはり#11 浅川隼人を挙げるべきだろう。今季奈良から移籍して、現在11ゴールとリーグ得点ランク2位タイ。直近5試合でも3ゴールと好調を維持しており、絶対に仕事をさせてはならない選手だ。また#10 菊井悠介はパスでもドリブルでも試合を組み立てられる松本の司令塔で、こちらも要注意選手だ。なお、岐阜の守護神も務めた#21 ビクトル (17年~19年) は、今季はベンチにも入ることがなく、長良川への“凱旋”は難しいだろう。一方の岐阜では、先述した#8 荒木や#24 粟飯原の活躍、そして#11 藤岡がゴールを決めて松本#11 浅川の得点数を上回る活躍にも期待したい。

5か月ぶりにホーム戦で勝利した岐阜だが、ホーム12試合で4勝と、まだまだ物足りない。ホーム戦2連戦目となる今節は、しっかりとホーム戦連勝を達成したい。そのためには、僕らサポーターが選手たちを支えよう。松本からも大勢のサポーターが来るだろうが、ホームの利を活かして、僕らの声援と拍手で岐阜の選手たちを鼓舞し、その背中を最後まで後押ししよう。そして今節も最後に“HYPER CHANT”を、このホーム・長良川に響かせよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第25節】 岐阜 5-1 YS 横浜

●5ヶ月ぶりのホーム戦勝利、そんなに勝てていなかったんだなあ。

この日の岐阜は戦い方を少し変えてきた。YS 横浜の最終ラインに対応するためか、後ろからロングボールを早めに配球する形に。そしてサイドからのクロスボールも躊躇せずに早めに入れるようにしていたように見えた。

そうして揺さぶりをかけ続けたのが功を奏したのか、岐阜が先制点を挙げることができた。先制の後、続けて2点目。水野泰輔のスルーパスに反応して抜け出した栗飯原尚平が YS 横浜 GK 岡本享也（元 FC 岐阜）と1対1になるも、横にいた庄司悦大にパス。庄司は落ち着いて流し込むだけだった。だが、直後に1点を返される。YS 横浜のダイレクトやワンタッチのパスワークに対する反応が遅れがちになり、サイドを突破されて中に送られたボールを合わせられてしまった。このまま2-1で折り返せればと思ってたところに、ATに追加点が取れたのは大きかった。神戸からレンタル移籍加入が発表されたばかりで、即スタメン起用の寺阪尚悟のヘディングシュートは嬉しいJ初ゴールに。SBながらサイズのある選手だなという印象。後半、岐阜は藤岡浩介の2ゴールを追加してトータル5-1での勝利。しかしながら点差ほど圧倒してた感じでもなく、YS 横浜の練度の高いプレーが光る場面も多かった。しっかり鍛えられてるなという感じでチーム力としては大きな差はなかったと思う。

一つ勝っただけで浮かれるわけにもいかないが、この勝利がここまで苦しんできたチームの光明になっていってくれば何よりである。（岐阜の誇り）

●チーム得点王の田口がJ3・金沢に完全移籍という、衝撃的なニュースから4日。注目のFWは#16 西谷亮と#24 栗飯原尚平のコンビ。ほかにも、夏の移籍で新加入の選手がズラリ。今までベンチ入りできていない選手たちも奮起して欲しいものなんですけど……ずっと酷暑の岐阜に居たからコンディション落ちてるのかしら（溜息）。さて、試合は序盤から岐阜が攻勢に出て、シュートを放つ。前節の八戸戦とは違って、後ろで回してチャンスを窺うというよりは、とりあえず前線にボールを出そうという意図を感じた。まあ、YS 横浜が八戸みたいに激しいオールコートプレスをかけてこないってのも要因かもしれないんですが（苦笑）。前半26分に相手ゴール前でボールを持ち直した#24 栗飯原が左足を振り抜いて先制点！その喜びも醒めぬ前半28分には、#28 水野泰輔のスルーパスに抜け出した#24 栗飯原が相手を引きつけ、プレゼントパスを#10 庄司悦大が押し込んで追加点！と、ここまでは良かったけれど、その直後に失点したのは課題が解消されていないと感じた。複数の相手選手に裏抜けを狙われると、それに対応しきれず崩されてしまう。やはり中盤・中央の運動量やカバーが不足しているように思う。この失点で受け身に回ってしまった岐阜。しかし、前半ATのCKで新加入の#37 寺阪尚悟がヘッドを叩き込み、3点目を奪って前半終了。これが非常に大きかったと思う。後半30分には、#11 藤岡浩介が見事なミドルで10試合振りのゴール！ただし、その前後の時間には、前半と同様に相手に決定的なチャンスを作られていた。相手の精度が悪かったから失点しなかったけれど、2点は獲られていてもおかしくなかったと思う。守備の不安定さは、今後も課題だなあ……（溜息）。とはいえ、後半ATにも#11 藤岡が自ら獲得したPKをきっちり沈めて、5-1。5得点って、Jでのクラブ史上タイ記録じゃなかったかしら？そして、試合終了の笛。ようやく、ホームで勝った……。もちろん嬉しいんだけど、課題も多かったし、ぜんぜん勝ってなかったから物足りない。これからは、しっかり修正して勝利を積み重ねて欲しいものです。（ささたく）

●リーグ戦で5点取ったのいつ以来？たぶん、2008。J参入初年度だよな？山形、そして、福岡。（2009以降はたしか、4点が最多のハズ。）アレ？両方ともアウェイだ。ということは長良川では初めてか。取られたコトは（以下略）。

でも、完勝か？というところ、内容的には得点数や得点差ほどの違いはなかったんだけどね。YSのミスにも救われた感じは少なからず。最終ラインを上げるのはいいけど、その分、実にアツサリと裏を取られていたような。ギリギリの勝利でした。逆に、ウチは、相手の最終ラインの裏へ外連味なく蹴り込んでいくという斬新？なスタイル。なんだよ、あるんじゃない、戦術の幅が（笑）。

それにしても、長かったね。長良川での万歳四唱は3月以来。あの雨の中を駆けつけ、後押しをしてくれた現地組の皆さま。ありがとうございます！お疲れ様でした。あ、こちらもうしばらく聞いた『俺たちと共に』。まさか、ココで繰り出すとは……。シビレました。最高です！それから、この試合の4点目。さすがのコースケさん。眼福のゴラッソでした。次節以降もよろしくお願いします！

あ、5得点は昨季のUスタでやってたよ！ご指摘ありがとうございます！昔のことは、まだらながら思い出せるけど、最近のことはスカッと忘れる。歳のせいとは言いたくないけどねえ（苦笑）。（ぐん）

●「高度な戦術だった」と思いたい。『最終ラインからつなぐ』の真逆の『最終ラインから相手ライン裏への放り込み』ではない。「戦術的にこれまでのやり方が間違っているとは思っていない」という囲み取材への回答のことだ。ほくもコロッと騙されました（笑）。

①最初からそのつもりだった（YSCC戦を考えて囲み取材では嘘をついた）

②岐阜に戻ってから会議室に呼び出されてクラブ上層部から諭された（笑）

③『ゴーストハック』（注：頭脳に乗っ取り）をされた

④近くに落雷があつて神の啓示を受けた

⑤単なる思いつき

まあ、理由がどれにしても、見事に「効いた」わけだ。田口がいなくなったことを受けてヨンジェがスタメンかと思つたらベンチにもいない。FWは1トップにあいちゃん、シャドーに西谷。田口と違ってあいちゃんは周囲とバランスが取れるタイプなんで、西谷と合うのかも。ボラは前に庄司、後ろにタイスケ。このメゾ上下関係（位置）がうまくいった。庄司は下がりがめになると『起点』になりたがる傾向がある。タイスケも試合序盤はバックパスが合わずにヒヤヒヤしたけど、2点目のスルーパスは見事だった。あいちゃんも左に持ち替えて打とうとしたら「あ、ファーで庄司がめっちゃフリー」と気づいたのかも。もっとも、サッカースタイルの『練度』はYSCCの方が上だったし、綺麗なカウンターで失点して、2-1のまま前半が終わったら結構怖かったんじゃないか。3点目は久しぶりの「FK→ヘッドどっかん」だったし、なにより時間帯が良かった。

後半も、『練度』が上のYSCCが綺麗な攻撃を仕掛けてきて、1つでも決まったらもっとキツイ試合になってただろう。そう考えると、コースケのラブリーな4点目でようやく「なんとかあったかな」と思えたし、サポが『アイーダ』歌ってる中にもボールを奪いに行つてPKを獲得し、確実に決めたのも得失点差を考えると大きい。

5ヶ月ぶりのホーム勝利。いやあ、懐かしいねえ……。勝つたら選手とゴール裏で『HYPER CHANT』を歌うのも忘れてたよ（マジで）。ホントはそんなじゃいけないんだぞ？選手は「苦しいときでもサポは応援してくれた」と言ってくれるけど、ある意味でこれはサポからチームに対する『貸し』だ。これから毎試合で、返すようにしてください。『HYPER CHANT』は歌い飽きるような歌じゃないからね。（吉田铸造）